

令和 8 年(2026 年)2 月 16 日

宝塚市 秘書課

観光にぎわい課

森 臨太郎 宝塚市長がタイ王国の首都バンコクを訪問しました。

～国際会議 PMAC2026 での登壇と公的機関で本市観光 PR を行いました～

1 訪問概要

森 臨太郎 宝塚市長がタイ王国の首都バンコクを訪問し、マヒドン王子国際保健会議 PMAC2026 においてセッションのスピーカーとして登壇したほか、バンコク市内にオフィスを構える公的機関等に訪問し、本市の観光の側面をPRし、交流を行うとともに、インバウンド観光客誘致の促進を拡大する会談・議論を行いました。

(1)マヒドン王子国際保健会議PMAC2026 への出席・登壇

PMAC(Prince Mahidol Award Conference)はタイ国政府とマヒドン王子記念財団主催で国際保健に貢献した人材を顕彰するマヒドン王子賞授賞式に合わせて、2007 年より毎年 1 月にタイ・バンコクで開催される保健医療分野の国際会議です。今年のテーマは「革新的な政策で世界の人口転換をナビゲートする」であり、少子高齢化や移民問題をはじめとする人口転換と健康・保険制度・社会問題が扱われました。森市長は会議開催期間内の 1 月 29 日午後のセッションにスピーカーとして登壇し、少子高齢化の中で財政的な持続可能性を担保するために必要なことの検証を本市が現在抱える課題や取組事項を絡ませ、討議しました。

(2)在タイの公的機関等に訪問し、本市の観光 PR を目的としたトップ会談等

タイ・バンコクに事務所を置く日本の公的機関である JNTO(日本政府観光局)、JF(独立行政法人 国際交流基金)、JETRO(日本貿易振興機構)、在タイ日本国大使館及び、タイ国の公的機関であるバンコク都庁、TAT(タイ国政府観光庁)、を訪れ、本市の観光 PR の周知と交流を行ったほか、タイの最高学府と呼ばれるチュラロンコン大学へも足を運び、学生に向け講義形式で本市の概要説明と観光名所の紹介をしました。

2 期間及び主な日程

令和 8 年(2026 年)1 月 27 日(火) ～ 2 月 1 日(日)【5 泊 6 日】

※森市長の宿泊費・航空費は PMAC から支払われています。

日程	内容
1 月 27 日(火)	終日移動日 関西国際空港 (午前)→ スワンナプーム国際空港(夕刻)
1 月 28 日(水)	9:30～ JNTO バンコク事務所、国際交流基金(日本センター)との面談 11:00～ JETRO バンコク事務所との面談 14:00～ チュラロンコン大学での講義 16:20～ タイ文化センターの視察
1 月 29 日(木)	終日 マヒドン王子国際保健会議PMAC2026 出席
1 月 30 日(金)	10:00～ バンコク都庁にて都知事とトップ会談 11:30～ タイ国政府観光庁との面談 14:30～ 在タイ日本大使館との面談
1 月 31 日(土)	11:00～ マヒドン大学 荒川潤太教授との面談
2 月 1 日 (日)	終日移動日 スワンナプーム国際空港 (早朝)→ 関西国際空港(夕刻)

3 訪問の成果の概要

(1)マヒドン王子国際保健会議PMAC2026 への出席・登壇

本会議は、1998 年からはじまり、保険関係の国際機関、教育研究機関、各国政府、市民組織など、開催期間中は世界中の機関メンバーがバンコクに集結します。タイ王室によるスピーチに始まり、期間中は会議のテーマである少子高齢化や人口動態に関わるセッションやサイドミーティングが実施されました。森市長は 1 月 29 日のセッションにスピーカーとして登壇し、少子高齢化の中で財政的持続可能性を担保するために必要なことなど、本市の抱える課題を絡めながらスピーチしました。森市長は、元国連職員、小児科医、市長という経歴のため、質疑応答では森市長への質問が集中しました。

- ・会議名称:Prince Mahidol Award Conference 2026
- ・登壇日時:1 月 29 日(木)14時～16 時(タイ時間)
(※国際会議自体は 1 月 26 日(月)～1 月 31 日(土)の 6 日間開催されていました。)
- ・会場名称:セントラグラッドバンコク コンベンションセンター



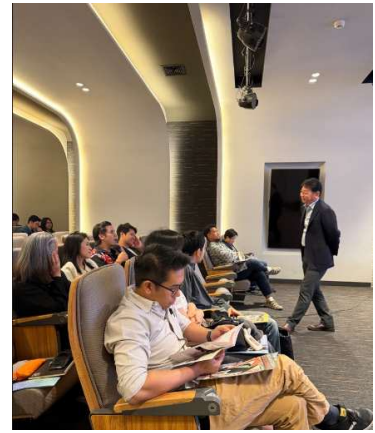
(2)在タイの公的機関に訪問し、本市の観光 PR を目的としたトップ会談等



JNTO 面談



JETRO 面談

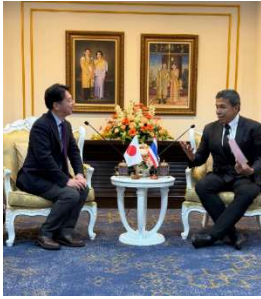


チュラロンコン大学での講義の様子。学生からの質問が多数あり関心の深さを感じられました。



タイ文化センター視察





バンコク都知事とのトップ会談。都知事も本市の観光地紹介に関心を持たれていました。



タイ国政府観光庁とのトップ面談。観光産業が強い国同士での連携について討議しました。



在タイ日本大使館での公使面談。
2027 年の日泰修好 140 周年に向けての
様々な取組のご紹介をいただきました。

訪問した全ての公的機関等において、本市観光ガイドブックや手塚治虫記念館パンフレットを配布し、本市の観光の側面を宣伝すると同時に、バンコクからのインバウンド観光客誘致にご協力いただく要望を伝えました。特に、チュラロンコン大学では学生 80 名以上が参加する講義を現地教授に手配いただき、森市長が英語で宝塚市の魅力や観光スポットを紹介しました。チュラロンコン大学はタイの最高学府ということもあり、数多くの学生から質疑を受け、本市の認知度を高めるとともに、観光・文化の観点で学生と交流を深めることができました。